

令和7年度 第2回「GX実現に向けた訓練カリキュラム開発分科会」報告

1 日時 令和7年8月6日(水) 15:00~17:00

2 会場 オンラインWEB会議

3 分科会委員

(座長) 味木 茂隆	(株)環境経営コンサルティング研究所
松永 和彦	職業能力開発推進協議会
宮沢 浩之	(公財)神奈川産業振興センター
岩根 一樹	(有)ファクトリーゼロ
人材育成支援センター(事務局)	
津久井二郎	人材育成支援センター主査
酒井 博之	〃 職業訓練推進員

*分科会委員の出席

全員出席

4 内容

ア 第1回分科会の内容を踏まえて

前回の会議で出た意見をもとに、資料を準備しました。資料1は前回の検討内容の報告書です。資料2に講座名の変更→「コスト改善のための省エネルギー・省資源対策講座～GX戦略への対応～」を反映しました。その他参考資料として、神奈川県補助金制度(参考1)、県内の市町村補助金制度(参考2)、小規模事業所の補助金活用事例(参考3)、また試行講座等の受講対象となる「かながわ人材育成推進企業ネットワーク」会員企業について、構成内訳を業種別にまとめました(参考4)。

これらを踏まえて、研修プログラムの具体的な内容(資料3)について、座長の進行で検討していただきます。

イ 研修プログラムについて(資料3 主な意見)

2日間のプログラム項目を確認後、具体的な内容について意見交換。

【研修1日目 GX概論①】

1-1 「なぜカーボンニュートラルを目指すのか」

- ・導入部としての位置づけ。この方向性で良い。
- ・受講するのが神奈川県の企業なので、できれば世界の平均気温の動向に加えて、横浜や神奈川県の気温の動向が情報としてあると、より身近に感じられて良いと思う。

1-2 「カーボンニュートラルとは」

- ・図が、わかりやすい。
- ・さらに詳しい人向けに、CO₂以外にも、メタン、フロン等の温室効果ガスに関する情報があっても良い。

1-3 「カーボンニュートラル社会とは」

- ・イラストでコンパクトにまとまっているが、情報が盛りだくさん。そのため見づらい面もある。分野別に分ける等、見やすくする工夫があったほうが良いのでは。
- ・セミナーで予定している「ZEB見学」が、イラストのどこに該当するか明示すると受講者の理解が深まる。
- ・受講対象者の大半を占める製造業と親和性のある項目を明示してはどうか。

1-4 「GXとは①」

- ・GXの説明導入部になる。カーボンニュートラルからGXへと話が進むので、受講者が無理なく話題についていけるよう、1-3と1-4のつながりを丁寧に説明したほうが良い。

1-5 「GXとは②」

- ・GXに関わる各種情報を紹介する。GX推進法、GXリーグ、カーボンプライシング等。

以下、1-6～1-8まで、資料3に追加

1-6 「県の施策を知る①」

- ・事務局作成の神奈川県補助金制度情報を掲載する。QRコードの活用。
- ・補助金等について載せる内容は良いが、情報提供するタイミングが重要。8年1月に開催する試行講座では、2日間の研修の最後に、次年度に向けて受講者に補助金情報を伝える。
- ・補助金活用事例として、KIPホームページに掲載されている(株)コバヤシ精密工業の取り組みを紹介する方向で調整する。同社では電力消費量を計測する機器を自社開発（発明大賞を受賞）し、使用電力の見える化をはじめ、カーボンニュートラルにむけた様々な取り組みを行い、コスト改善に成功している。こうした事例も大変参考になる。講座の中で、同社の方に話をしてもらう方法も検討する。
→宮沢委員を介して(株)コバヤシ精密工業担当者にコンタクトをとり、取り組み状況などについて一度お話をうかがうことになった。
→講座のメイン講師に加えて、話題提供者を呼ぶ場合の予算措置等事務局で確認する。

1-7 「県の施策を知る②」

- ・神奈川県省エネ診断情報等について伝える。
- ・省エネ診断は、省エネルギーセンターでも神奈川県をはじめとして全国的に実施している。神奈川県で活用できる情報をメインで伝える。

1-8 「施設見学(西キャンパス ZEB) 約1時間」

- ・ZEBについての説明、ZEBのシステムと従来のシステムの比べた利点等。
- ・見学では、太陽光パネル、分電盤、ペアガラス等の設備、装置の見学。
→試行講座では、松永委員が見学部分の説明を担当する（西キャンパスZEBについて、前校長として施設立ち上げから携わり、内容を熟知しているため）。

【研修2日目 活動の実際】

2-1 「脱炭素社会の主要骨格」

- ・2-1は削除し、2-2「エネルギー源について」から始める。
説明が複雑になるため、まずエネルギー源について話をしたほうが、受講者にも伝わりやすい。

2-2 「エネルギー源について」、2-3 「オフィスのエネルギー管理とは」

- ・ 図解と具体例でわかりやすい。資料の内容が良いと思う。
- ・ 電気以外のエネルギー源(ガス等)も明記する。
- ・ 省エネチェックシートを活用する。チェック項目は、自社にある設備の有無など、シンプルで書き込みやすい内容にする。受講者にも手を動かしてもらいチェックシートに記入することで自社のエネルギー源について考えるきっかけにする。省エネ診断を行う際の事前調査シートなど他の調査票も参照する。

また研修2日目の残りの内容については、次回(第3回)分科会で検討する。

ウ 次回(第3回)について

対面開催を予定していたが、WEBで開催することになった。

(日時) 令和7年9月2日(火) 15:00~17:00 WEB会議(ZOOM)

(第4回分科会(10月21日(火))を、対面で開催する)

以上